



Ⅷ 各地域の実施状況一覧

(平成19年12月)

実施主体	仙台赤十字病院	社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター愛育病院	岡山県
事業開始日	平成17年10月1日	平成17年11月11日	平成17年8月17日
事業実績	セミオープンシステムによる分娩件数 1513件 (H19) (分娩施設 下記6施設、健診施設 31施設)	オープン分娩数 76件(～12月、前年度123件) セミオープン分娩数 92件 (2006年、前年10件)	セミオープンシステム申込み 32件 (H19年4月～) 分娩数28件 (H19.12月現在)
産科オープン病 院の概 要	<p>産科</p> <p>仙台赤十字病院:全病床数430床 産科45床(年間分娩数約900例)</p> <p>国立病院機構仙台医療センター:全病床数698床 産科40床(年間分娩数約900例)</p> <p>産科40床(年間分娩数525床 産科25床(年間分娩数約750例))</p> <p>東北大学病院:全病床数1236床 産科28床(年間分娩数約600例)</p> <p>東北公済病院:全病床数335床 産科33床(年間分娩数約950例)</p> <p>NTT東日本東北病院:全病床数187床 産科14床(年間分娩数約400例)</p>	<p>愛育病院</p> <p>全病床数118床</p> <p>総合周産期母子医療センター</p> <p>産科59床、MFCU6床、NICU9床</p> <p>(年間分娩数1,698例、うち帝王切開数407例)</p>	<p>岡山大学病院</p> <p>全病床数870床</p> <p>産科22床、NICU3床</p> <p>年間分娩数約350例</p> <p>新病棟完成に伴い3月末からNICU6床1になる</p>
	オープン病院の概要		
産科医師数・助産師数	仙台赤十字病院 (産科医師6名、助産師37名)	産婦人科医師9名 助産師74名	産科婦人科医師数 23名 助産師数 19名
登録施設数(病院・診療所)	病院1 診療所30	診療所 17	病院 3 診療所 12
オープン病院化 連絡協議会委員	県、関係6病院代表者、連携診療所代表者 仙台市医師会、仙台産婦人科医学会 東北大学(岡村教授)	都、東京都医師会、東京産婦人科医学会 愛育病院周産期医師・助産師、登録診療所医師 周産期母子医療センター医師	県、日本産科医学会岡山県支部、岡山市医師会、岡山大学病院(産科医師)、地域医療連携室長、産科病棟師長)、岡山労災病院産科医師
連絡協議会の開催日	平成17年度 協議会2回、作業部会2回 平成18年度 協議会3回 (H18.6.30、H18.12.7、H19.3.29) 作業部会3回	平成18年6月19日(第1回)、10月16日(第2回)、 平成19年3月26日(第3回)、6月18日(第1回)、 平成19年11月28日(第2回)	平成19年12月19日
住民への周知・勉強 会等	ポスター・市民公開講座 登録医とセミオープン病院内の勉強会 等	登録医とオープン病院との勉強会 学会、関係団体での講演 妊婦向けパンフレットの配布	第60回産婦中国四国地方部会発表 日 医生涯教育講座で講演 第3回周産期オープンシステム研修会(平成19年9月26日開催) 岡山県母性衛生学会でシンポジウム 日産婦市民公開講座で市民への啓発
モデル事業と他事業・ 既存の対策との連携	厚生労働科学研究岡村班:「地域における分娩の適 正化」で検討 宮城県周産期・小児医療協議会周産期医療部会で 状況報告等 他地域へのセミオープンシステム普及・実施	東京都周産期協議会の部会として連絡協議会 を設置。検討結果は協議会に報告	岡山県医療問題協議会 周産期対策協議会において意見交換
各地域の課題		患者データの共有化 ・登録医数の加入促進 他地域でのオープン化の推進 ・普及啓発 妊婦リスクによる妊婦の適正配分 等	登録医で利用の悪い医師の積極参加 オープンシステムの他病院、他地域への展開 市民への啓発活動
今後の事業予定	連絡協議会の開催(平成20年1月) セミオープンシステムで分娩した患者さんに対するア ンケート調査集計 診療マニュアルの改訂	平成19年度連絡協議会 年3回開催 地域の周産期医療の分析→他地域での展開 一次、二次病院との連携 助産所との連携 患者データの共有化(電子カルテ化)	契約医師会員以外の周辺地域への展開 開放型病院共同指導料施設基準の取得 取り決め事項の整備 オープンシステムの他病院、他地域への展開 岡山県周産期システムとの連携、全国クリティカルパスとの連携

Ⅷ 各地域の実施状況一覧

(平成19年12月)

実施地域	静岡県	三重県	滋賀県
事業開始日	平成18年11月1日	平成18年4月3日	平成18年1月1日
事業実績	セミオープンシステム登録87件 分娩数54件(H19.10月現在)	登録妊婦30件(退院済み11名、キャンセル2名) (平成20年1月9日現在)	セミオープンシステム登録36件 分娩数30件(H19.10月末現在)
産科オープン病院の概要	病院名 榛原総合病院	三重大学医学部附属病院	滋賀医科大学附属病院
オープン病院の概要	全病床数408床 産科病床数23床(婦人科含) 年間分娩数404例(H18年度実績)	全病床数731床 産科病床数27床 NICU病床数5床 (年間分娩数 約300例)	全病床数608床 産科病床数42床 NICU病床数6床 (年間分娩数275件(H18年実績))
産科医師数・助産師数	産科医師数4名 助産師数9名	産科医師12名 助産師14名	産科医師14名 助産師18名
登録施設数(病院・診療所)	診療所 10	病院3(5名) 診療所13(16名)	病院4 診療所19 助産所5(助産師6)
オープン病院化 連絡協議会委員	県 浜松医科大学 日本産婦人科医学会静岡県支部 県立こども病院、掛川市立総合病院 菊川市立総合病院、市立御前崎総合病院 榛原医師会、小笠医師会、島田市医師会 榛原総合病院	県 三重県医師会 三重県産婦人科医学会 三重大学周産期母子センター(医師、看護師長、地域医療事務担当者) 登録診療所医師	県(健康推進課、医務業務課 計5人) 滋賀県産婦人科医学会(会長、理事 計4人) 滋賀医大(産科医師、助産師、地域連携室 計7人) オープン登録医師(代表7人) オープン登録助産師(代表2人)
連絡協議会の開催日	平成18年10月30日、平成19年11月27日	平成18年9月28日(第1回)、平成18年11月16日(第2回)、平成19年1月25日(第3回)、平成19年12月6日(第4回)、平成20年3月13日(第5回;予定)	平成18年10月12日・平成19年11月29日開催(実績報告、問題点と今後の課題等の検討)
住民への周知・勉強会等	ポスター、パンフレット掲示及び配布 ホームページへの掲載 地域内公共施設でのポスター掲示 バス車内放送によるお知らせ	ポスター、パンフレット、の作成・配布 育児情報雑誌、メールマガジン掲載 オープン病院、県ホームページの掲載	母子健康手帳別冊手帳で妊娠リスクスコア表活用 周産期に関する講演会(H18年9月16日開催)を一般市民に公開。 テーマ: 崩壊する周産期医療～どうするこれからのお産～「妊娠リスクスコアリングシステム」と産科オープンシステム」について報告。
モデル事業と他事業・既存の対策との連携	特になし	三重県医療審議会周産期医療部会において周産期医療ネットワークとの連携を審議する予定	滋賀県周産期医療協議会で活動内容等報告
各地域の課題	セミオープンシステムの確立	地方型のオープンシステムの確立	現状システムでの課題改善と拡大への検討
今後の事業予定	運営協議会の定期開催 事業の普及、啓発活動 地域におけるセミオープンシステムの完全化	①県内5基幹病院産科病床のオープン化とこれらを拠点とした周産期医療ネットワークの検討 ②市民(患者)への啓発活動 ③症例検討会によるシステム内の医療の標準化	運営協議会の開催 事業の普及、啓発活動 等

VIII 各地域の実施状況一覧 (平成19年12月)

実施地域		広島県
事業開始日	平成18年7月1日	
事業実績	セミオープンシステム登録43件(H19.10月末現在) セミオープンシステム分娩数36件( " )	
産科オープン病院の概要	県立広島病院	
オープン病院の概要	<p>平成19年4月1日現在</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全病床数750床</li> <li>・産科病床数27床</li> <li>・NICU病床数9床</li> </ul> <p>平成18年度分娩数659例</p>	
産科医師数・助産師数	産科医師9名 助産師51名	
登録施設数(病院・診療所)	診療所6	
オープン病院化連絡協議会委員	県、県立広島病院、登録医療機関代表、広島大学、広島県医師会、広島県産婦人科医会、地域周産期母子医療センター、県民代表	
連絡協議会の開催日	平成18年8月28日 平成19年3月19日	
住民への周知・勉強会等	妊婦指導用パンフレット作成 啓発ポスター作成 セミオープンシステムで分娩した産婦へのアンケート調査実施	
モデル事業と他事業・既存の対策との連携	広島県地域保健対策推進協議会産科医療提供体制検討部会への情報提供	
各地域の課題	・妊婦、産婦人科医への普及・啓発 ・病診連携システムの構築	
今後の事業予定	オープン病院化連絡協議会の開催 病診連携や産科医療資源の有効活用に関する方策の検討 モデル事業報告書の作成	